

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年5月8日 (2008.5.8)

【公開番号】特開2006-274068(P2006-274068A)
 【公開日】平成18年10月12日 (2006.10.12)
 【年通号数】公開・登録公報2006-040
 【出願番号】特願2005-95973(P2005-95973)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/12 (2006.01)

C 0 8 K 7/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/12

C 0 8 K 7/00

【手続補正書】
 【提出日】平成20年3月19日 (2008.3.19)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 液晶性樹脂 1 0 0 重量部に対して、(B) 乾式粉碎法により得られる、体積平均粒子径 1 7 ~ 1 0 0 μ m の鱗片状強化材 5 ~ 2 3 0 重量部を配合してなる リフロー実装用液晶性樹脂組成物。

【請求項 2】

さらに (C) 繊維状強化材を含有せしめてなる請求項 1 記載の液晶性樹脂組成物。

【請求項 3】

請求項 1 ~ 2 のいずれか 1 項記載の液晶性樹脂組成物を成形してなる成形品。

【請求項 4】

鱗片状強化材を体積平均粒子径 1 7 ~ 1 0 0 μ m に乾式粉碎した後、液晶性樹脂に、液晶性樹脂 1 0 0 重量部に対して 5 ~ 2 3 0 重量部配合することを特徴とする液晶性樹脂組成物の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 7 】

すなわち、上記の課題を達成するために本発明によれば、(A) 液晶性樹脂 1 0 0 重量部に対して、(B) 乾式粉碎法により得られた、体積平均粒子径 1 7 ~ 1 0 0 μ m の鱗片状強化材 5 ~ 2 3 0 重量部を配合してなる リフロー実装用液晶性樹脂組成物 が提供される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】削除
 【補正の内容】